

令和7年度第1回伯耆町子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和7年11月26日（水）13：28～14：20

場 所 伯耆町3階 大会議室

出席委員 9名

山根 佳奈子（二部小学校PTA）【会長】

潮 純一（あさひ保育所保護者）【副会長】

椎木 慈（ふたば保育所・あさひ保育所）

相見 光子（小規模保育所こどもパル）

木島 久美（子育て支援センター）

中島 寛（溝口小学校放課後子供教室）

長田 修平（民生児童委員協議会）

幅田 典代（溝口小学校）

藤原 美枝（教育委員）

欠席委員 神庭 美輝（子育て支援センター利用者）

岩崎 奈美（岸本小学校PTA）

森 千代美（岸本放課後児童クラブ）

事務局 福祉課（住田 浩平、北垣 栄美子、松浦 夏穂）

健康対策課（中原 孝訓）

教育委員会事務局（乗本 千都）

1. 開会

発言者	発言内容
事務局	只今より、令和7年度第1回伯耆町子ども・子育て会議を開会する。本日の出席状況等について、委員総数12名のうち出席委員9名と委任状提出委員3名の計12名で、委員の半数以上に達しているため、伯耆町子ども・子育て会議条例第6条の規定に基づき、本会議が成立していることを報告する。
事務局	昨年度から委員が1名変更となった。あさひ保育所保護者会から潮さんにご参加いただいている。

2. 会長あいさつ

発言者	発言内容
事務局	それでは、開会にあたり会長からご挨拶する。
会長	子ども・子育て会議の会長として、昨年度から参加している。この数年で、こどもや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化していて、それぞれのニーズに合った多様な支援が必要になってきている。伯耆町が、こどもたちや子育てをしているかたが安心して健やかに過ごしていけるまちとなるよう、委員のみなさんと一緒に考えていきたいと思っているので、ご意見くださるようお願いする。

事務局	続いて、副町長よりご挨拶する。
副町長	<p>本来であれば町長がご挨拶するところだが、他の公務のため代わりにご挨拶させていただく。</p> <p>昨年度は、伯耆町子ども計画の策定にあたり、忙しい中多くの意見や協力をいただき、本年３月に計画が策定されたところ。この計画は令和７年から令和11年までの５年間、こどもまんなか社会の実現に向けて、伯耆町の施策を進めるもの。誠にお世話になり感謝申し上げる。本会議は令和６年度までのこども・子育て支援事業計画の評価及び来年度実施予定の事業についての説明をする。皆様から忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>また、現在、国の子育て支援策がめまぐるしく変化している。直近の話で言うと、子育て応援手当が支給されることとなった。国で決まり次第、伯耆町でも支給開始に向けて準備を進めていく予定となっている。</p> <p>今後も様々な子育て政策についてご提言、ご意見いただくことが多々あると思うが、ご理解ご協力をお願いする。</p>
事務局	公務のためここで副町長は退席する。

３．副会長の選任

発言者	発 言 内 容
会長	伯耆町子ども・子育て会議条例第５条の規定により、委員の互選によりこれを定めることとなっている。選出方法について意見はないか。
委員	(意見なし)
会長	事務局から推薦することとしてよいか。
委員	(異議なし)
事務局	副会長にあさひ保育所保護者会の潮純一さんを推薦する。了承いただけるか確認したい。
委員	(委員了承)
会長	では、あさひ保育所保護者会の潮純一さんを副会長とする。

４．議事

発言者	発 言 内 容
会長	(１)「伯耆町子ども・子育て支援事業計画の評価及び実施状況について」の説明を事務局に求める。資料１－１ 資料１－２
事務局	(資料１－１・資料１－２に基づき説明。)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	評価する事業と実施状況を見ていく事業に、違いがあるものがある。例えば子育て支援センターの事業。この違いにはどのような背景があるのか。
事務局	第２期計画策定時に、国の指標を参考にしながら、項目を設定してい

	る。数値目標を挙げる事業は評価のほうに、数値目標はないものの事業の状況を見ていくものは実施状況のほうでまとめている。
委員	昨年度の実施状況や評価をするには、時期が遅いように思うが。
事務局	行政の年間の流れとして、前年度の事業予算や実施状況が確定するのは6月頃。そこから議会等の審議を経て9月頃に決算が確定する。また、来年度実施事業の概要がかたまるのは9月から10月頃となっていることから、両内容を同時期に開催する際の実施時期として、この時期の開催となった。ただ、年度の状況によっては時期を早められる場合もあるため、議題の状況をみて早い時期での開催を検討する。
会長	そのほか質問・意見はないか。
委員	(質疑なし)
会長	(2)「令和8年度新規実施事業について」の説明を事務局に求める。 <u>資料2</u>
事務局	(<u>資料2</u> に基づき説明。)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	令和8年度実施場所が溝口保育所となっている根拠は何か。こどもの利用が多いのはこしき保育所やふたば保育所かなと思うが。
事務局	現在の一時保育の枠組みをこの制度に活用して、受入体制の整いやすい溝口保育所でまずは実施することとした。というのも、この制度は来年度全自治体の実施することとされているが、本町での実際の利用はあまり多くないと見込んでいる。また、一時保育の利用ニーズはこしき保育所が多いため、この制度実施によってこしき保育所の一時保育の利用枠を少なくしたり無くしたりすることは考えにくかった。令和9年度以降は、定員の空き状況や実際のニーズをみて、他の保育所での実施も検討していく。
委員	利用者の利用時間帯の想定は。また、給食の提供はあるか。
事務局	低年齢児のため11時以降は給食及び午睡の時間となること、また未就園のためアレルギー情報の把握が難しいことなどから、来年度は午前中のみの利用枠としている。その中で1～3時間利用していただくようになる。この制度での給食の提供は、来年度は実施しない。一時保育の事業も実施しているため、給食や長時間利用の必要がある方はそちらを利用していただく想定をしている。
委員	特に0歳のお子さんの預けてもよい時間として、1時間程度の利用がベスト。そうすると給食などは不要かと思う。 月10時間までの上限もあることから、必要な時にお子さんとお母さんの支援をするような制度となっているように思う。
会長	そのほか質問・意見はないか。

委員	(質疑なし)
会長	(3)「その他」について、事務局から議事はあるか
事務局	なし。
会長	その他、今日の会議に関する事で、何か質問・意見はあるか。
	(意見なし)

4. 報告

発言者	発 言 内 容
会長	報告に入る。 (1)「こども家庭センターの設置について」事務局より説明を求める。 <u>資料3</u>
事務局	(<u>資料3</u> に基づき説明。)
会長	説明のあった議事について、質問・意見はないか。
委員	こどもの健やかな成長のために、福祉と教育が一体となって取り組むことが重要だと考えている。 来年度設置されるこども家庭センターは、福祉課の児童福祉と健康対策課の母子保健が一体となってできるといった説明だったが、教育委員会との連携も強化されるようになればよいと思う。現在福祉課は本庁舎に、教育委員会事務局は分庁舎にあり、物理的に距離が離れていると細かな連携が難しい部分があると懸念している。例えば米子市のように、こども総本部という部署があり、ひとつのフロアに教育も福祉も入っている、といったこどもに関する部署が集まり一体的な取り組みができるようになってほしい。 実現は難しいかもしれないが、子どもが減少していく中で伯耆町らしい子育て支援や教育をするため、こどもを中心にした大きな機関ができればよいと思う。
事務局	こども家庭センターの設置に向けた検討の中で、町長は教育部門も含むものを考えていた。その考えに基づき、福祉、母子保健、教育の一体的な組織の設置を検討してきたところ。 委員が言われるとおり福祉と教育の連携は重要なポイント。ただ、令和8年4月1日の設置に向けてすべて一体の組織とするのは難しい状況があり、来年度については、まずは児童福祉と母子保健のセンターを設置することとなった。 なお、現段階での福祉と教育の連携について、具体的な状況を事務局の担当から説明する。
事務局	こどもや家庭に関する事案や課題は、福祉と教育委員会、学校が連携しないと解決していかないものが多く見られている。 現在は、いまの配置状況の中で柔軟に連携を図るため、月に1回連絡

	会を設けて情報共有、協議を行っている。また、福祉課の保健師と教育委員会のスクールソーシャルワーカーとは、別途協議をする時間を設け緊密な連携を図っている。連携に係る課題が全くないわけではないが、こども家庭センターの設置に伴いさらに連携の形態を密にしていこうとしているところ。
会長	そのほか質問・意見はないか。
委員	(質疑なし)
会長	続いて、(2)「その他」事務局より説明を求める。
事務局	なし。

5. 閉会

発言者	発 言 内 容
会長	本日の会議の日程は全て終了した。 これをもって、令和7年度第1回伯耆町子ども・子育て会議を終了する。